

いつまでも住み続けたい、住んでみたいと思えるまちへ

平成24年度

予算が決定

町の平成24年度予算が、3月に開かれた町議会第1回定例会で決まりました。この予算に基づいて、町はさまざまな施策を行ってまいります。

今月号では、予算の編成方針、予算の全体像、主な事業を紹介します。

【企画財政室財政課 34・2072】

予算の編成方針

町の財政状況は、平成22年度普通会計決算においては黒字となったものの、自主財源の柱である町税収入は前年度から約1億1000万円の減収となり、歳入全体に占める自主財源の比率も平成19年度の50・8%から低下を続け、41・9%まで落ち込みました。黒字決算になった要因は、地方交付税などが増収になったことによるものであり、依存財源に頼っているのが現状です。また、改善されたものの経常収支比率は依然として高く、償還のピークを過ぎた公債費もいまだ高い水準にあり、財政の硬直化傾向にあることによりはなりません。

このような状況のなかで、経常的な経費については、一層の経費の縮減を行ったうえで必要な予算付けを行い、政策的な経費についても、必要性、緊急性を十分に精査したうえで、優先順位付けを行い、財源の重点的かつ効率的な配分に配慮しました。



予算の全体像

町の予算は「一般会計」と「特別会計」、そして地方公営企業法に基づく「水道事業会計」から成り立っています。「水道事業会計」から成り立っています。町の各会計予算総額は、187億9798万4千円となり、前年度の当初予算に比べて1億6336万1千円、0.9%の減少となりました。

一般会計予算

一般会計の予算規模は、総額が97億3400万円で、前年度に比べて5億2600万円、5.1%減少しました。

町の収入の主なものは、住民の皆さんが納める町税です。景気低迷や退職者の増加に伴う給与所得の減少による個人町民税の減収や、3年に一度の評価替えによる固定資産税の減収などにより、前年度より約1億円の減収を見込みました。地方交付税は、公債費の償還額の減少などにより、前年度に比べ約800万円の減収を見込みました。一方、支出に占める割合の大きなものとして、障害者施策に係る給付費、保育所運営費などの児童措置費、道路新設改良事業、公債費の償還などが挙げられます。

特別会計予算

国民健康保険特別会計

療養給付費などの保険給付費、後期高齢者支援金や介護納付金、保険財政共同安定化事業拠出金などの増により

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより前年度に比べて2461万円、7.5%の増加となりました。

前年度に比べて2億5182万4千円、7.6%の増加となりました。

介護保険特別会計

今年度から平成26年度までの3年間の第5期事業計画を開始します。この計画を踏まえて、引き続き介護サービスや介護予防サービスの充実を図ります。また、介護報酬の改定や介護サービス利用の増加により、保険料の見直しを行いました。

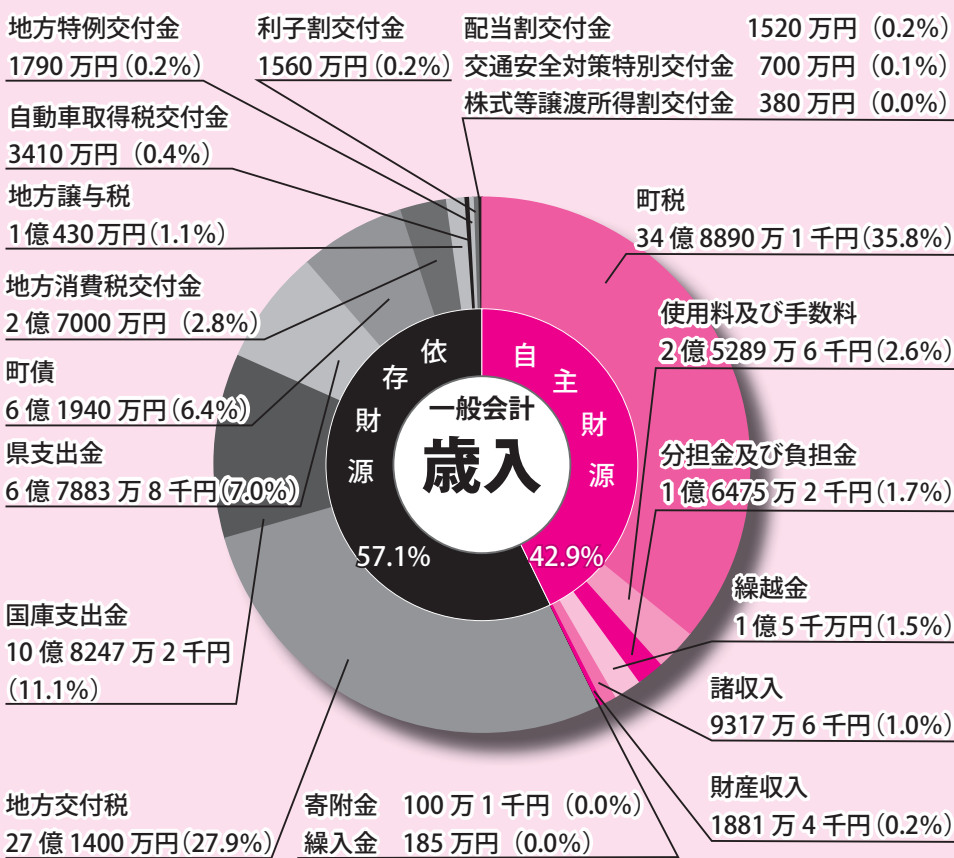
公共下水道事業特別会計

下水道は、住環境の改善や公衆衛生の向上、また、水質保全を図るうえで欠かすことのできない施設であり、計画的に整備を進めています。今年度は、公共下水道事業で5.9ヘクター、特定環境保全公共下水道事業で10.6ヘクターの整備を行います。

水道事業会計予算

水道は、文化的な生活や経済活動を支える必要不可欠な基盤施設として最も重要なものです。

より一層、安全で安心できる水を安定して供給できるよう、施設・設備の更新に努めていきます。



※ () 内の数値は構成比。端数処理の関係で100%にならない場合があります。



平成 24 年度予算

町民 1 人当たりの一般会計歳出予算額

29 万 7903 円

内訳

民生費 9 万 5326 円
高齢者・障がいのある人・児童など福祉全般の充実



公債費 4 万 1386 円
大きな事業を行うために国などから借り入れたお金「町債」の返済



総務費 3 万 9485 円
町の全般的な管理経費や自治振興など



教育費 3 万 6660 円
教育・文化・スポーツの振興



土木費 2 万 9679 円
道路・河川・公園などの施設の整備



衛生費 2 万 8597 円
検診や予防接種、ごみ・し尿の収集処理など



消防費 1 万 5693 円
消防や防災対策



その他 1 万 1077 円
農業の振興対策や農道・農業用水路の整備、議会の運営、商工業・観光の振興

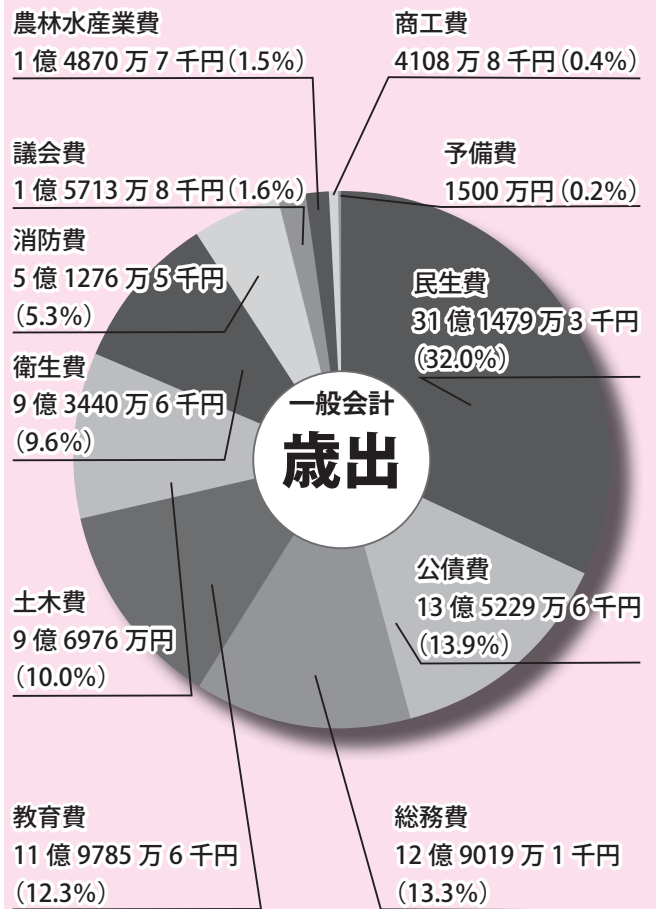
※数値は、各歳出項目を 32,675 人（平成 24 年 3 月 1 日の住民基本台帳人口）で割った額です。

平成 24 年度 田原本町の予算

一般会計予算 97 億 3400 万円
特別会計予算 78 億 7206 万 3 千円
水道事業会計予算 11 億 9192 万 1 千円

予算総額

187 億 9798 万 4 千円



会計別予算額

(単位：千円)

会計		平成 24 年度	平成 23 年度	増減額	増減率
一般会計		9,734,000	10,260,000	△ 526,000	△ 5.1%
特別会計	国民健康保険	3,573,441	3,321,617	251,824	7.6%
	住宅新築資金等貸付事業	2,465	3,435	△ 970	△ 28.2%
	公共下水道事業	1,796,357	1,762,946	33,411	1.9%
	後期高齢者医療	353,990	329,380	24,610	7.5%
	介護保険	2,133,480	2,010,929	122,551	6.1%
	磯城郡介護認定審査会共同設置	12,330	12,450	△ 120	△ 1.0%
水道事業会計	収益的収入及び支出	791,156	785,604	5,552	0.7%
	資本的収入及び支出	400,765	474,984	△ 74,219	△ 15.6%
各会計予算総額		18,797,984	18,961,345	△ 163,361	△ 0.9%



順次、小・中学校校舎の耐震工事をしています

主な事業

平成24年度の主な事業を、「自然と歴史・文化が育む新しい生活拠点たわらもと」をまちづくりの将来像とした田原本町第3次総合計画の6つの基本施策分野ごとに紹介します。

1 共に幸せを感じられるまちづくり

放課後児童健全育成事業

2409万8千円

今年度から指定管理者制度を導入します。入所対象を小学3年生から小学4年生までに広げるとともに、開所時間についても拡大し、保育サービスの充実を図ります。

障害者支援事業

5億8864万7千円

新たに策定した第2次障害者計画並びに第3期障害福祉計画により、障害者施策の充実を図り、自立と社会参加の促進に努めます。

また、障害者自立支援法などの改正に

より、従来は県が行っていた障害児通所支援を今年度から町が実施します。

がん検診・予防接種事業

9099万8千円

がんの早期発見のため従来からがん検診の助成を行ってきました。平成21年度からの乳がん・子宮がんに加えて昨年度から大腸がん検診についても無料クーポンによる助成を行っており、今年度も引き続き実施します。

また、定期予防接種に加えて任意接種であるヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の助成も継続して行います。

2 人が活いきと輝くまなびのまちづくり

小中学校校舎の耐震化事業

5101万2千円

(うち平成23年度補正分4366万円)

教育現場での児童生徒の安全確保や、災害時における避難施設としての役割を果たすために計画的に耐震化事業を実施しています。今年度は、国の財政措置により平成23年度補正予算で計上した南小

学校南館校舎と平野小学校中館校舎の耐震工事を、また次年度以降の耐震補強に向け南小学校北館校舎と北中学校北館校舎の実施設計を行います。

中央体育館改修事業

5650万4千円

(うち平成23年度補正分3850万円)

スポーツ振興の拠点となっている中央



中央体育館とテニスコートをリニューアルします



予防接種の助成を行います



平成 24 年度予算



駅前広場を核として周辺整備に取り組みます



史跡公園として整備が進められている唐古・鍵遺跡

3 都市基盤が充実したまちづくり

体育館をリニューアルします。まず、国の財政措置により平成23年度補正予算で計上した、避難場所にも指定されている中央体育館の天井パネルの落下を防止するための工事を行います。併せて、トレーニング室に競技器材を配備するとともに、館内のトイレ改修を行います。また老朽化したテニスコート人工芝の全面改修を行います。

唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業

7830万1千円

国史跡の唐古・鍵遺跡の保存と整備に

については、平成23年度に策定した全体設計に基づき史跡公園としての整備を行います。今年度は本格的整備に向け造成工事と水路工事を引き続き行います。

学校給食業務の民間委託事業

1218万5千円

行財政改革により職員定数の適正化を推進していくなかで、充実した学校給食の提供を確保するために、給食調理業務に民間活力を導入し、効率的な運営を図っていきます。まず、今年度は南小学校で民間委託を始めます。

田原本駅周辺整備事業

501万7千円

本町の玄関口である近鉄田原本駅の周辺整備については、駅前広場を核としたまちづくりに取り組みます。南街区の再開発の検討を引き続き行います。また、駅周辺の活性化を図る整備メニューや駅前空間全般の修景などを検討し、駅周辺の「まちづくり」の取り組みを行います。

(仮称) 田原本インターチェンジ周辺地区整備事業

1600万円

昨年、市街化区域に編入した地域の企

業誘致に向け、京奈和自動車道の(仮称)田原本インターチェンジ周辺地区の基盤整備を行うため、今年度は周辺道路などの概略設計を実施します。

水道施設改良事業

2億6647万6千円

より安全で安心な水を安定して供給していくためには、水道施設や機器の保守点検、改良などを行っていく必要があります。今年度は老朽化した配水流量計更新工事を実施します。また、自己水の安定確保のため井戸新設工事をはじめ、配水管などの改良工事を実施します。



基盤整備の準備が進む田原本インターチェンジ周辺



南小学校では学校給食の民間委託が始まります



水路などの生産基盤整備に取り組みます



自然災害などに備えて総合防災訓練を実施します

4 快適に生活できるまちづくり

笠縫駅東側自転車駐車場整備事業

400万円

近鉄笠縫駅周辺の放置自転車対策として、駅東側に駐輪場の設置を計画しており、今年度は用地の測量と駐輪場施設の設計を行います。

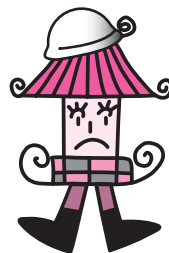
防災対策事業

1398万円

平成22年度から整備を進めてきた緊急地震速報や災害時の避難情報を伝達する

ための同報系防災無線を今年度から運用を開始します。

重大な危機や自然災害に備えるため、総合防災訓練の実施や、自主防災組織の育成強化、防災知識の普及に努めるなど防災体制の強化に取り組みます。



5 活力湧き出る産業振興のまちづくり

農業基盤対策事業

9934万1千円

(うち平成23年度補正分6600万円)

土地改良施設維持管理適正化事業

900万2千円

良好な田園維持と効率的な農業の推進を図るため、農道、水路などの生産基盤整備を継続して実施します。

また、主な井堰の機能診断を行い、井堰機能保全計画書を作成し、既存施設の有効活用や長寿命化を図ります。

中小企業者に対する

資金融資の実施

875万4千円

長引く景気の低迷により、町内の商業を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。

このため、事業の運転・設備・店舗改造資金を必要とする中小企業者に対する資金融資制度を引き続き実施します。



中小企業者の資金繰りを支援します



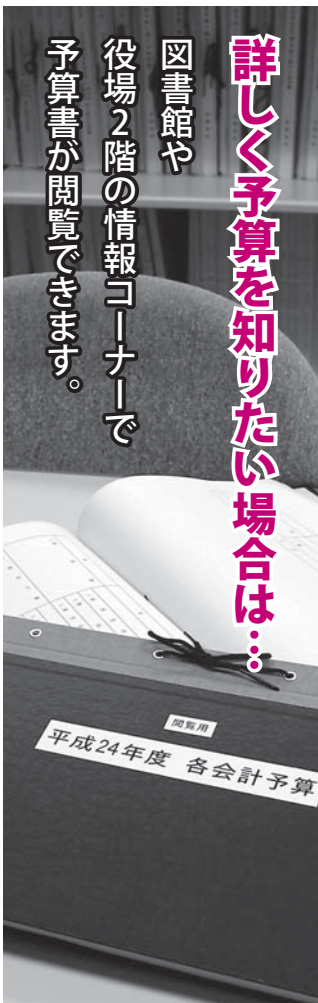
笠縫駅東側で駐輪場の整備に着手します



職員の資質向上を図っていきます



太安万侶ゆかりの多神社



図書館や
役場2階の情報コーナーで
予算書が閲覧できます。

詳しく予算を知りたい場合は…

6 効率的な計画推進をめざしたまちづくり

職員の資質の向上のために

60万円

平成21年度から3年で構築してきた人事評価制度は、昨年度の試行に続いて、今年度から本格実施を行い、人事管理施策に反映していきます。

また、従来から行っている職員研修をより充実させるとともに、今年度から職務に活用できる資格取得に係る費用助成

古事記1300年紀事業

500万円

今年、本町が生誕の地とされている太安万侶によって「古事記」が編纂されて1300年という節目の年に当たります。

また、県では「古事記」完成1300年目の平成24年から「日本書紀」完成1300年目となる平成32年までの9年

間を「記紀・万葉プロジェクト」として、歴史素材を生かした取り組みが行われます。

本町でも、このプロジェクトと連携するとともに、「古事記」編纂者の一人、稗田阿礼ゆかりの大和郡山市との共同事業の実施や、太安万侶や「古事記」ゆかりの地・伝承など田原本の魅力を全国に発信していきます。

制度を新たに設け、職員の資質の向上を図っていきます。

基幹業務システムの共同化事業

5418万円

電算経費の削減と事務の効率化を図るため、平成22年度から近隣の7市町で準備を進めてきた自治体クラウドを活用した基幹業務システムの共同化が、今年度から稼働します。



基幹業務システムの共同化が稼働します



「古事記」編纂に功績を残した太安万侶（坐像）